

「東日本大震災 学童保育募金」 「平成28年熊本地震 学童保育支援募金」 ご協力のお願い

2017年 8月 全国学童保育連絡協議会

東日本大震災と原発事故から6年半が経過しようとしています。また、2016年4月、「平成28年熊本地震」が発生しました。学童保育においては、保護者・指導員・行政関係者などの努力により、多くの施設が再開され（原発事故による避難指示区域等を除く）、子どもの放課後や長期休業中の生活を守り、働きながら子育てをする家庭を支えています。

全国学童保育連絡協議会（以下、全国連協）はこれまで、国と自治体に、緊急に求められる支援とともに、被災した地域の学童保育が本来の役割を果たすことができるよう、制度・施策の抜本的な拡充・確立を求めてきました。また、被災した地域の学童保育関係者や行政とも相談しつつ、つぎのような取り組みを行ってきました。

- ① 学童保育施設の再建への支援
- ② 学童保育に必要な備品等への支援
- ③ 運営費への補助
- ④ 研修・相談活動など指導員への支援
- ⑤ 放射線被害から子どもたちを守るために必要な方策への支援
- ⑥ 学童保育の復旧・復興・拡充を支える体制づくりのため、被災した地域の学童保育連絡協議会等に対する支援

これらの活動を支えるうえで、2011年3月と2016年5月に全国の学童保育関係者に呼びかけた募金が大きな力を発揮しています。

被災した地域の復旧・復興に向けた努力を支える息の長い取り組みが、これからも求められています。全国の学童保育関係者の皆さん、ぜひ、状況をご賢察いただき、被災した地域の指導員と保護者をはげまし、子どもたちの安全と安心を保障する学童保育づくりのための募金に、さらなるご協力をお願い申し上げます。

現在までに寄せられた募金は、「東日本大震災 学童保育募金」に5335万9868円、「平成28年熊本地震 学童保育支援募金」は340万4770円になりました（2017年8月31日現在）。

*「平成28年熊本地震 学童保育支援募金」にお寄せいただいた募金は、熊本県・大分県の学童保育連絡協議会それぞれに、必要とされる額をお届けします（なお、最終的に募金残高が生じた場合には、「東日本大震災 学童保育募金」に繰り入れさせていただきます）。

平成28年熊本地震 学童保育支援募金の振込先

- ・みずほ銀行 本郷支店
- ・普通預金 4022450
- ・名義：全国学童保育連絡協議会

東日本大震災 学童保育募金の振込先

- ・三菱東京UFJ銀行 本郷支店
- ・普通預金 0012273
- ・名義：全国学童保育連絡協議会
- 代表 木田保男

「平成29年7月九州北部豪雨学童保育支援募金」にご協力ください

2017年 8月 全国学童保育連絡協議会

全国学童保育連絡協議会では、福岡県・大分県の学童保育連絡協議会と連絡を取り、情報収集を行いつつ、「平成29年7月九州北部豪雨」により、被害を受けた地域にある学童保育への支援について相談を進めています。

福岡県朝倉市内で大きな被害が生じている地域には、4つの学童保育があります。学童保育施設の建物自体は被災していませんが、地域が断水し、学童保育でも水が使えない状況になりました（2017年8月末現在、水道は復旧しています）。なかには、学童保育の入っていた施設が地域の災害対応の拠点になり、急遽、別の場所をお借りして、保育を行っているところもあります。福岡県学童保育連絡協議会では、これまでに寄せられた募金を活用して、飲料水やお弁当の支援を行っています。

小学校では、8月21日から2学期がはじまっています。

大分県日田市では、「学童保育における人的および物的被害はない」とのことですが、「指導員の数が足りずに、保育を行ううえで支障が出ている」「昼食を準備できずにこまっている家庭がある」などの声が寄せられ、大分県学童保育連絡協議会が、募金を活用してお弁当の支援を行ったり、NGOと相談したり、地域住民や地元の特別支援学校等に依頼して指導員の人手不足を補う手立てをとるなどの支援を行っています。

福岡県学童保育連絡協議会・大分県学童保育連絡協議会は、「学童保育に通う子どもたちや指導員に必要な支援を」と募金を行い、協力を呼びかけています。ぜひ、皆様のご協力をお願い申し上げます。

「平成29年7月九州北部豪雨学童保育支援募金」の振込先は下記のとおりです

- ・ゆうちょ銀行
- ・記号 17400 ・番号 83108171
- ・名義 福岡県学童保育連絡協議会
- *他金融機関からは・七四八店（ナナヨンハチ店）普通8310817

◆連絡先 福岡県学童保育連絡協議会

〒805-0067 北九州市八幡東区祇園2-4-22 電話：093-662-6000